

# ～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 生活環境課 環境保全係

毎年、一般募集して結成した月例観察会メンバーにより、月一回の月例観察会を行っています。そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。お問い合わせは 75-1772。

茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」(新書版144ページ)は茅野市役所 生活環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

## ヘルメット (悦) 写真も

今年度は、オープンされていないコースに入る時にはヘルメットを被ることにしています。暑い時には「暑苦しい」、暑くなくても「頭が重い」と不評です。

しかし、何が落ちて来るか分かりません。念のため、被ってくださいーい。

紅いヘルメット、可愛いじゃありませんか。最近の軽トラックのように、皆がカラフルなヘルメットにしたら楽しいかも。ヘルメット自慢も面白いかも。

また皆で何か味を確認していますね。山の物を食べる時には、ちゃんと、毒がないという知識が必要です。人が食べるからは安心できません。



## 心がけが良かった最終日 (su)

お天気を心配していたけど、何とか最後までもってくれました。

みんなの心がけが良かったのですね。

今年の紅葉は何か変!!

進行が遅いし、色も鮮やかさに欠けるし、そのまま樹上でシワシワになるし、…何か変。自然のなすことはわからないことがたくさん。オオムラサキの幼虫を見られて良いしめくりでした。

## 11月の感想 (chi)

アオハダの葉は、色が薄くなることわかったこと。実のそれぞれの違いが見れたこと、不思議がたくさんでした。

## 我々の存在 こんなもん。(悦) 写真も



## オオムラサキ 幼虫 (秋)

市民の森も紅葉の真っ盛り！アオハダ、コシアブラ、タマアジサイ、ダンコウバイ、カマツカなど、それぞれが独特の葉色で彩って美しかった。

そしてエゾエノキの小さなオオムラサキの幼虫はなんと幹上を株元に避難中！市民の森の動植物もあわただしい冬支度の真っ最中でした。

樹幹を下る幼虫



根元に下りた幼虫



## いろいろ (KK) 写真 e

○リンドウの種を観た。外皮をむいたら紫色のところが帽子、その中に種がいっぱい。りんどうでも種類によって違うんだなあと感じた。写真 e



○アオハダの葉色がうすく黄緑になる。

○最後にオオムラサキの幼虫をみた。!!!

## 出会った昆虫 (馬)

- ゲンゴロウ
- アキアカネの仲間
- オツネトンボ
- オオムラサキの幼虫
- スミナガシの蛹の殻



## 秋深まる山の中 (そ) 写真も

雨の心配もよそに(後半、少し降りましたが)黄葉やいろいろな実、種を観察できました。

そしてオオムラサキの幼虫も。

○ハクウンボクの葉にさわった感じはとても独特で、ラムズイヤーのようでした。

○一年間、非日常を楽しんだり、勉強させて頂きました。

○冬を越す準備が着々とすすんでいるのですね。



ウバコリの種

## 疑問解決 (悦) 写真も

5月に見つけた同定できなかった幼木。今回、実が付いる！

この実はカマツカですよ。

そうなると、スルスルと疑問は解決。

葉も、幹も納得！すると、ここにも、あそこにも見つけられます。

スッキリした気分でも今年も終了です。



5月に見つけた不明の葉



独特の紅葉と実

「市民の森 里山の風景」⑩ (矢)写真も

人のいる風景:市民の森は縄文の昔からいろいろな恵みを人に与え、時には開発の波に翻弄され、姿を変えてきた。その遺物は今も放置されだまらである。  
 私たちは、里山を利用するばかりではなく、その仕組みや自然の作用などを学びながら、どう付き合っていくかを考えたいものである。



散歩する人を包み込む紅葉の林



放置された大きな土管

秋 (9月)

樹幹を下る 幼虫

東コース  
池⇨横河口  
→20分 ←25分

せせらぎコース  
南コースとの分岐⇨横河口  
→35分 ←40分  
ほぼ平坦

中央コース 1.5Km  
山頂広場⇨池  
→25分 ←35分  
(標高差137m)

頂上コース 1.3Km  
駐車場⇨山頂広場  
→60分 ←45分  
(標高差130m)

南コース 1.8Km  
駐車場⇨池  
→40分 ←50分  
ほぼ平坦

甘い香りが漂う散策路(悦)

アマゴ(?) (吉)

昨年のこの時期、水車小屋近くで発見したアマゴ(?)は今年は見られなかった。紅葉も毎年同じ風景を見せてはくれない。しかし、今年も色々な発見や気づきがあり楽しく過ごせました。  
 自然に沿いながら来年も期待したい。



去年見た魚



花 イヌコウジュ



ヤブタバコ?



果実 ソヨゴ



キササゲ



ツルリンドウ



オオバアサガラ



フサザクラ



きのこ ツチグリ

下見のときであった鳥 (悦)

写真上:ホオジロではないか?  
 写真下:キビタキ



キリの萌芽の枯れ木 (悦)

キリの萌芽した枝が枯れていたのを切って見ました。やはり空洞がありました。



ネットで検索すると、漢字の「桐」という字は「同(ドウ、トウ)」が音を表し、「木目がまっすぐ通っている木」の意味の「通(トウ)」が語源であるという。  
 さらに別の説は「中に空洞のある木」という意味で、大きくなると幹に空洞ができることによる。

という記述があり、沢山の穴があるキリの写真が沢山出ていました。  
 我々の観察が裏付けられましたが、じゃあ、なぜ空洞なの? 疑問は続きます。